

○議長（古川元規） 7番 前原英石議員。

○7番（前原英石） 前原です。よろしくお願いいたします。

私のほうから、「ながら見守り隊」の現状についてということで質問させていただきたいわけですが、今、私の前に小杉知弘議員から、青少年のSNS利用制限についてということで質問がございましたが、私もこれにつきましては、同様の考え方を持っております。

また、答弁でございましたが、あくまでも学校だけじゃなくて、舟橋村の子どもということに主眼を置いて教育行政を進めていただければなというふうに感じたわけでございます。

そこで、私のほうから質問をさせていただきます。

先月2月19日に発信されました舟橋村結ネットで、竹内地内、舟橋小学校付近で下校中の複数の児童が後をつけられるという事案が発生したと流れておりました。また2月26日には、舟橋駅前に複数の警察車両がおり、駅前が騒然としておりました。何か事件があったのかと思い、確認したところ、高校生に対する痴漢行為らしき事案が発生したとのことでございました。

これは舟橋村に限らず、県内でもこれと類似した事案が富山県警安全情報ネットでも度々発信されていますし、全国的にも子どもが巻き込まれる事案が増加していると聞いております。

そこで、子どもの目線に立ち、舟橋村の教育行政に取り組んでこられ、道半ばでお亡くなりになった前早川教育長の発案で創設され、画期的な取組として当時には新聞にも取り上げられたながら見守り隊ですが、現状ではその影も形もないように思えます。

趣旨に賛同してくださった多くの方々には、自治会ごとに刺しゅうの色を変えた帽子を配布し、協力をいただいていたのですが、今ではその帽子を使用している人も見かけなくなりました。また、啓発のためののぼり旗も見かけなくなったような気がしております。

当初、それに賛同してくださった方はどのぐらいいたのでしょうか。予算も計上され進められてきた事業ですが、この事業の現在の取組についてのご説明をお願いいたします。

去年は、熊についての事故や目撃情報、そして痕跡が見つかるなど、連日放送されていましたが、そんなときにでも、ながら見守り隊の皆さんが近くにいてくれば、僕た

ち、私たちを見守ってくれるという安心感にもつながると思います。

今年も冬眠明けの熊やイノシシ等が出没しないとは限りません。4月の入学式前に、ながら見守り隊の隊員になっておられる皆さんに、再度周知されてはいかがでしょうか。また、趣旨に賛同していただける方をさらに募集されてはいかがでしょうか。

このような事案が発生するのは、特に登下校時です。このような事態を未然に防ぐためにも、子どもたちが安心して登下校ができ、帰宅後にも外で遊んだり、子どもたちの発案で設置されるブランコでみんなと楽しく遊ぶ。そんな学校生活を送れるよう、ながら見守り隊が見える形での継続と強化を図っていただくとともに、舟橋村にはこんな組織があるということを広く周知してもらうことによって、周りの人たちは、あ、誰かが見ているかもしれないというようなことで、いろんなことをとどまってくれるかもしれないということもございます。

このような話の中で、一つでも犯罪の抑止効果につながるようなことを行っていただきたいというふうに思っております。

終わりに、早急な対応をお願いして、質問を終わります。

以上です。

○議長（古川元規） 土田教育長。

○教育長（土田 聡） 7番前原議員のご質問にお答えいたします。

初めに、ながら見守り隊「ふなはしビレッジーズ」は、小中学校の児童生徒の登下校時の見守りはもちろん、日中の地域防犯等も含め、地域の力で安全の強化を図ることを目的に、地域学校協働本部「ふなはしテトラ」が主体となって、令和4年6月に見守り隊の帽子を配布して活動を開始しました。活動当初、賛同いただいた方は140名ほどになります。

現在の活動状況につきましては、それぞれの方の自主的な活動のみとなっており、活動の実態を把握しておりません。

しかし、令和5年には、のぼり旗の作成と、役場3階のテラスに掲げてあります横断幕を作成し、ながら見守り活動のPRを行っております。

のぼり旗については、自治会長会議の折に配布し、各地区での設置をお願いしております。また、令和6年には新しい旗を配布して、交換をお願いしたところです。

当初作成しました旗は、見守り隊の愛称が大きく描かれており、見守りの意味合いが感じにくいものでしたが、本年度、デザインを一新し、見守り活動の文字を大きく描い

て、活動をさらにPRするものとなっております。この旗については、次年度の自治振興会長会議の折に配布したいと考えております。

今後の活動につきましては、議員ご指摘の活動の充実と地域住民への周知、参加促進に力を入れていき、多くの住民による地域全体の見守りができるように進めていきたいと考えております。

以上、答弁といたします。

○議長（古川元規） 前原英石議員。

○7番（前原英石） 答弁、ありがとうございました。

今のぼり旗の話が出ておりましたが、私もそのとおり、あの英語で書かれたのぼり旗を見ても、何ののぼり旗かなと思われる人が多くおられたのかなというふうに思っております。

また、今教育長も言っておられましたが、先ほど申しましたように、もうすぐ入学式も始まります。

ですから、村民の皆さん、140人ですかね、おられると言われましたが、そういう人たちに再度お願いをして周知を急いでほしいと思いますし、一人でも多くの方にやっぱり賛同を得て、増えるような形のことをいち早く進めていただき、新入生が安心して学校に行けるような形になるよう取り組んでいただきたいと思いますのですが、それについてどうでしょうか。

○議長（古川元規） 土田教育長。

○教育長（土田 聡） 前原議員の再質問にお答えしたいと思います。

周知、勧誘の件につきましては、この後チラシを早急に作成し、配布してまいりたいというふうに思いますとともに、村報への掲載を継続していくということを取り組んでまいりたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（古川元規） 前原英石議員。

○7番（前原英石） すみません、先ほど質問すればよかったのですが。

今まで各自治会に配っておられた、皆さんに帽子を渡しておられましたが、その帽子については、かぶっていただくことが一番いいんですけれども、新しくそういう趣旨に賛同してもらえる方には、今の帽子の配布ということも考えておられるのか、最後にこれをお聞きいたします。

○議長（古川元規） 土田教育長。

○教育長（土田 聡） 前原議員のご質問にお答えしたいと思います。

帽子に関しましては、現在全て配布されてしまっておりまして、ご希望がある方が出  
てくれば、帽子のほうを次年度の予算等で作成し、配布したいというふうに考えており  
ます。